

# 労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2020年3月26日発行

No. 568号 (第51期 13号)

〒454-0055

名古屋市市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

## 第 51 期氷雪技術講習会実技報告



2月22日～23日、八ヶ岳の黒百合平付近に於いて氷雪技術訓練の実技を、講師2名、参加者4名で実施しました。

昨年の10月から11月にかけて、延べ4回の机上講習で冬の装備と生活技術、冬山の気象、積雪期の行動技術、冬山の危険と安全対策などを学び、いよいよ実技講習です。

今期は雪が少なく、当初の予定の12月の西穂高岳から2月の天狗岳へと変更になりました。  
(次項に続く)

《目次》	第51期氷雪技術講習会実技報告	1
	第34回全国総会参加報告	3
教育部	4/19(日)教育部交流山行のお誘い	4
組織部	第51期 第11回 組織担当者会議一報告	5
〃	全国連盟会員登録を正確に！	6
遭対部	4/17、第52期春山合宿遭対連絡会議を開きます。	7
	登山学校の理論講座は、会員なら誰でも受講可能です。	7
	カレンダー	8

## <一日目>

まず、渋の湯温泉からテント幕営地黒百合ヒュッテを目指す。

最初の橋を渡ってすぐの登りから、少し積もった雪の下がカチコチに凍っていて角度のついたスケートリンクのようによく滑る！ということでアイゼン装着。歩行技術の足りない私はアイゼンのありがたさを噛みしめ・・・いや、踏みしめながら(?) 沢沿いの道をじりじりと高度を上げていく。

この日の天気は午後からは風も強くなり降雪もありそうなので、さっさと幕営地についてテントを張りたいと思っているのに、雪山装備とテント泊装備、食料の入ったザックの重さに歩みの速さはまさに「牛歩」。いや、牛が聞いたら「モー、俺たちのほうが早いよ失礼な」と言うのではないかとと思うほど。

「ここを上って尾根まで乗り上げれば少しなだらかになるよ」とコーチに励まされ、進みゆくとパノラマコースとの合流を過ぎ中山の尾根に乗る。しばらくなだらか、よかった。

しかし頭の中に叩き込んできた地図は、この後に登山道はこの尾根を外れて少し下り、その後の登りの黒百合平までは等高線が混んでいたことを語っている。一步一步を重ねてじりじりと標高を上げてゆくと目の前に黒百合ヒュッテがあらわれた。

雪が降り始め、風がだいぶ出てきたので急いでテントを立てる。竹ペグを埋めるために雪を掘るとすぐ下の氷の層が厚く固い。ピッケルを斧のように振り下ろしてガツガツ砕くがこれがなかなか。十数センチなんとか掘って埋める。やっと一つ目のテント設営、もう一つのテントの設営に取り掛かる。その時、突風がびゅうっと吹いたと思ったら先ほど設営したテントが浮いていた！メンバーの一人ががっキャッチ。

設営したテントにザックを入れていなかったこと、竹ペグをもっと深く埋めなかったこと、反省しながら再び二つのテントを設営。今度はさらに深く深く、失敗した自分たちの甘さを打ち砕くように氷を砕き、同じ失敗は二度とないぞと決意を固めるように雪を踏み固めてようやく2つのテントを設営。



テントの中の荷物を整え、昼食を終え、午後からは黒百合平南側にある斜面にて再び実技。雪をけりこみ歩行技術を学びながら登り、天狗の奥庭手前の斜面で滑落停止訓練。

だんだん風が強くなり、雪が渦巻きだしたところで、テントに戻り夕食準備。まずは水を作るため雪の確保を行い、水作りのポイントを学びとり塩鍋を作った。

暖かい鍋を囲みながらの山談義、こんな風に濃密に他会との交流ができることは今まであまりなかったが、こうして過ごすのはとても楽しくありがたいもので、時間はあっという間に過ぎていった。

## <二日目>

夜中強風と雪、朝になっても強風と雪は続き厚い雲が立ち込めていた。朝食のトマトリゾットを食べながら本日の予定を相談。参加者の1名が体調不良のため付き添い者1名もテントに残ることにした。

訓練は東天狗岳から西天狗岳の予定ではあったが強風のため、当初からせめて森林限界超えるところまでは行って強風の体感ができたらということでもまずは中山峠を目指して講師2名と参加者2名で出発した。

中山峠を過ぎ急登を登り切った岩場に出た瞬間に冷たく刺すような風が襲ってきた。耐風姿勢を取っても強風に耐えきれず前に進むつもりが体は横へ、真っ直ぐ歩くのもままならない。前方からは登ることを断念して引き返してきた若者達、全身雪で真白になっていた。



講師から「強風も雪山の厳しさも体験できたと思います。これ以上進むのは危険と判断します。引き返しましょう」の声。残念だけれど内心ホットした自分。テントまで戻り、黒百合ヒュッテで休憩させてもらっていた2人と合流。体調も改善してきていたので一緒に下山できることになり、皆で温かいコーヒーを頂きホット一息。

テント撤収時は深く掘って踏み固めた竹ペグの掘り出しには苦勞したが貴重な経験になった。

全員揃って黒百合ヒュッテ前で記念撮影をして下山開始。下山途中からあの厚い雲が切れ太陽が顔を出してきた。明日は振替休日、そして天気も回復する予報、登ってくる多くの登山客とすれ違った。

今回の氷雪技術講習会では、たくさんの教え、経験、失敗から様々なことを学ぶことができた。そして、やはり冬山は何より体力が必要。自然と向き合い、しっかり歩けるように体力作りに励みたい。

## 第34回全国総会参加報告

2月15日(土)～16日(日)東京都調布市で開催された第34回全国総会に、佐藤理事長、望月副会長、吉川事務局長の各代議員で参加してきました。

議案としては、(第1号議案)第33期下期の活動報告と第34期上期の活動方針、(第2号議案)第33期下期の財政活動総括と第34期上期の財政方針、予算の策定(第3号議案)全国連盟規約と各一部局および専門委員会に関する規程の一部改定について、(第4号議案)全国役員を選出、その他でした。

また、今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりでした。

- (1) 創立60周年を記念し、組織の強化と拡大を目指す活動について、
- (2) 重大事故をなくす安全登山教育の充実について
- (3) リニア問題など、山岳自然保護活動について
- (4) 平和と登山を考え、登山文化を発展させる取り組みについて

来賓には、日本山岳・スポーツクライミング協会、八木原会長、日本ヒマラヤ協会 伊東理事長、HAT-J (ヒマラヤアドベンチャー ツーリスト ジャパン) 神崎会長、新日本スポーツ連盟 石川理事長の各氏が出席しました。

今回の総会の特徴の一つとしては「ROUSANパートナーズ制度」検証委員会の報告、が出されたことです。これは「第33回総会で「ROUSANパートナーズ制度」の総括と今後の対応について代議員から厳しい意見が出され」検証委員会が設置されてその報告が出されたものです。

その他、登山時報がデジタル配信もされるように準備されています。登山時報は収支一杯で発行されており、購読者を増やす狙いもあります。現行の紙面での発行とデジタル配信との二本立てになります。PDFも公開するとのことで、カラー紙面を増やす事が出来る。

全国総会では各地方連盟の報告・発言の時間が取られており、その一部を紹介します。

[岐阜県連] ——県連内でHPの改善しているところは入会問合せも入会者も増えている。

労山基金の説明をする担当者がどのように説明するのか、という問題がある。登山時報にココヘリの加入など具体的な事例を掲載してほしい。

[沖縄県連盟] 辺野古山があるが近年立ち入りできなくなり登れなくなった。他にも登れなくなった山が増えている。

[長崎県連盟] 長崎県は被爆75周年となるが、“平和あってこそその登山”の立場から、被爆体験を伝えていくことが必要である。

[静岡県連盟] 二つの会で120名の会員減少があった。脱退した会はハイキングを主体とした会であ

った。山筋ゴーゴー体操のサポーター養成講座には7名参加している。ココヘリ加入者の下山遅れ事故があり、当日はヘリが飛んだが発見は出来なかった。翌日は発進21分後にピンポイントで発見された。

〔大阪府連盟〕1990年～2020年分の事故事例集を作ろうと準備している。事故分析の会議を年2～3回開催してきた。事故には正当な理由——起こるべくして起こる理由があり、それを見つけ出すことが肝要。リーダーは事故ではない、と言っている事例があり、労山基金の申請30日を過ぎてしまうことがあった。また、登山学校での事故は会から事故報告を出すのか、学校から出すのか、問題点があった。下山時の躓き事故防止では、下山に入る前に20回早い足踏みを行う事で事故防止につながる。登山用ロープの表示基準が変わった。何ジュールのエネルギーを吸収するか、という表示になった。手話通訳が出来る人がガイド資格を取った。聴覚障害者に対して、ユマールにぶら下がって手話通訳での指導ができるようになった。

〔広島県連盟〕ハイキングABCのCDを作った。登山講座を受講生3名で実施し、既存の会に入会してもらった。新しい会を作ることを目標にし、昼と夜の部での登山講座を4～6月に開催し、15名集まった。13名で新しく会を結成し県連としては270名の組織数になった。

〔兵庫県連〕県連の連盟費が高いという事があり、連盟員の人数と連盟費入金の数合わないという事が生じていた。連盟費を385円から300円に値下げした。機関誌の発行部数も減らして県連財政を削減した。山岳会の脱退があった。2003年発足の会が高齢化で10名となり活動できない、という事であった。

討論のまとめ、——浦添理事長——では、

42名の発言があり貴重な意見が出された。22名が質問した。

- ・ある地方連盟は2年連続減らしている（7団体300名）。労山の魅力満載の紹介パンフレットは早く作る様にとの要望があった。
- ・安全登山では、大阪府連では愛知の事例集を上回るものを作ろうと意気込んでいる。ココヘリで、静岡でピンポイントで救助できた事例があった。台風などで登山道が崩落した京都ではチェーンソーを使って整備している。
- ・登山時報の電子化一期待にこたえたい。全国集会の取り組みは、当該地方連盟と連携して行う。
- ・ROUSAN パートナーズ検証委員会の報告を真摯に受け止め全国連盟の今後の活動に生かしてゆく。
- ・7Aの個人賠償保険は他にはないものとなっている。一般的にアウトドアの個人賠償保険は保険会社が引き受けない。

採択では各議案が承認されました。

全国連盟の新体制は、佐々木会長、藤本・花折・高橋各副会長、浦添理事長、石川・久保・今野・臼井各副理事長、理事では在京や留任の他、近畿2名、福岡・道央・兵庫・島根・愛知より佐藤理事が新たに選出されました。

## **教育部 4/19(日)教育部交流山行のお誘い**

52期の教育部の活動の1つとして、教育部交流山行を提案しています。県連の活動で各会が交流する機会が増えることは、県連活動においても各会の活動においても有益であると考えています。新型コロナウイルスの対応で、県連総会をはじめ各部の活動が延期されている状況ですが、現時点の判断としては実施致しますので、各会からの参加、よろしくお願ひします。

### 1. 山行の目標

県連に所属している各会の教育に携わっている方々、リーダとして山行を引っ張っている方々をはじめ各会の会員が、親しくなることを目標とします。併せて、各会の岩場歩行訓練等に役立つような



交流山行となるように取組みましょう。

## 2. 集合場所等

①集合場所/集合時間：御在所岳ロープウェイ乗り場のトイレ付近／8時00分

②アクセス：新型コロナウイルスの対応のため、公共交通機関は利用せず、自家用車での集合とします。

③解散場所：御在所岳ロープウェイ乗り場のトイレ付近

## 3. コース&スケジュール

登りはヴィアフェラータ～富士見尾根／中道／下りは一の谷新道です。（以下予定時間）

乗り場 8:00～藤内小屋 9:00～ヴィアフェラータ入口 9:30～中道7合目 11:00～8合目 11:20～富士見岩 12:00～アゼリア前広場 12:30-13:00～鷹見岩 14:20～乗り場 15:30

★ヴィア・フェラータはバリエーションルート(岩場)です。ちなみにヴィア・フェラータはヨーロッパ発祥とのことでイタリア語で「鉄の道」という意味。

ヴィア・フェラータとは鎖や鉄の杭など人工的な設備が整った登山ルートのことです。

※ヘルメット・ハーネス・カラビナ・シュリングを持って入山します。忘れないように！

★富士見尾根もバリエーションルートです。←ザイルを使用するので、岩登り経験者のみとします。

※岩登り未経験者の方は、中道から登ります。



## 4. 参加方法

①参加される会は、教育部の榊原 ([mocopooh@khaki.plala.or.jp](mailto:mocopooh@khaki.plala.or.jp)) まで連絡願います。

②各会でパーティを組み、それぞれ山行計画書を作成して参加して下さい。

会でパーティを組めない場合は、教育部榊原に相談して下さい。

## 組織部 第51期 第11回 組織担当者会議一報告

県連事務所： 2020年3月12日（木）午後7時～

出席者：あつた（森田）、ありんこ（榊原）、春日井（弘中）、スルジェ（杉田）、同志会（吉川）、東三河（齊藤）、

### 1) 第52期一般登山講座のについて

・新型コロナウイルスの収束が見通せない中、開講を8月29日(土)まで延期する。日程については理事会で確認後、受講申し込み者に連絡する。

- 2) 組織部として各会の組織実態を把握し、会員拡大と組織建設に役立てるようアンケート調査を実施し、これらの共有化と会員拡大に役立てるようにする。
- 3) 各会の会員拡大や会の活動について、進んだ事例・経験を学び合い教え合うようにする為、各会の代表者などを組織担当者会議に招いて懇談する。実施は、5月より。

## 全国連盟会員登録を正確に！——会員構成の把握

現在、県連盟各会では高齢化が進んでいると見られますが、今後の会員数の推移の見込み及びこれに伴う財政見直しにも関わる各会会員の年齢構成を把握する必要があります。

これについて各会が全国連盟に会員登録を行っていますので、このデータから各会会員の年齢構成を見ることができます。今回、全国連盟に登録されている年齢構成のデータを取り寄せていますが、これによると会員数と各会より報告されている会員数とにかなりの乖離が見られます。これは各会での会員登録変更の実務の遅れによるものと思われる。この年齢構成が正確に把握されない状態では今後の財政見直しにも影響を及ぼします。同時に各会での会員拡大の重要性の把握と、その対策——会員拡大の方策の立案、実施にも影響するでしょう。各会に於かれましては、上記年齢構成を正確に把握するためにも、全国連盟への会員登録の訂正、変更手続きなどを行う様、お願い致します。

### 愛知県勤労者山岳連盟 加盟団体毎会員数の動向

No	加盟団体	2019年2月度(2月末現在)						2020年2月度(2月末現在)											
		入会			退会			在籍会員数			入会			退会			在籍会員数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	あつた勤労者山岳会							37	28	65	0	0	0	2	1	3	34	19	53
2	アリス山の会	0	0	0	0	0	0	2	4	6							2	4	6
3	犬山勤労者山の会マップ	0	0	0	0	0	0	16	31	47	0	1	1	0	0	0	23	34	57
4	おやこ山の会	0	0	0	0	0	0	2	3	5							2	3	5
5	春日井峠の会	0	0	0	0	0	0	24	21	45	0	0	0	0	0	0	20	22	42
6	かわせみ山楽会							10	7	17							12	7	19
7	じねんじょ山の会	0	1	1	0	0	0	27	21	48	0	0	0	3	1	4	22	18	40
8	スルジェ山の会	0	0	0	0	0	0	15	17	32	0	0	0	0	0	0	16	16	32
9	ちんぐるま							5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5
10	東海山岳会	0	0	0	0	0	0	27	8	35							24	8	32
11	名古屋ありんこ山岳会	0	0	0	0	0	0	19	13	32	0	0	0	0	0	0	19	12	31
12	名古屋ASC	0	0	0	1	5	6	12	7	19							13	6	19
13	名古屋山岳同志会	1	0	1	3	0	3	66	37	103	0	1	0	0	0	0	79	43	122
14	名古屋山歩会							13	7	20	0	0	0	1	0	1	11	7	18
15	半田ファミリー山の会	0	0	0	1	0	1	32	35	67	0	0	0	0	0	0	33	37	70
16	東三河山ぽ会	0	0	0	0	0	0	65	87	152	0	1	1	0	0	0	69	91	160
17	低い山を楽しむ会							8	4	12							8	4	12
18	ふわく山の会							73	86	159	0	0	0	0	0	0	55	71	126
19	みどり山の会	0	0	0	0	1	1	13	19	32							10	23	33
20	山の会「くらら」	1	0	1	0	0	0	38	28	66	0	0	0	0	0	0	37	26	63
21	若駒山岳会							14	7	21	0	0	0	0	0	0	12	8	20
	合計	2	1	3	5	6	11	518	470	988	0	3	2	6	2	8	506	459	965

## 遭対部 4/17、第52期春山合宿遭対連絡会議を開きます。

下記のとおり、標題の会議を開きます。合宿に取り組む山岳会は、コース別に計画書を30部持参してください。取り組まない会も、是非出席し、山岳情報、経験の共有化に努めてください。※なお、『労山愛知』No.567号8ページのスケジュール表(暫定)には、4月10日(金)と記載されていますが、いくつかの山岳会からの要望で17日に延期しました。

【日時】2020年4月17日(金)19:30から 【場所】県連事務所

## 登山学校の理論講座は、会員なら誰でも受講可能です。

「学びたい」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう！(一講座500円) 普段、会では学べない内容の講座がラインナップ。3講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ！(3/29は8:30~16:30) 県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。5月までの理論講座を紹介します。

開講日	テーマ	講習内容
2020年 3月29日(日) 8:30~16:30	労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組織論/ ③遭難事の防止/ ④自然保護 登山の計画~下山まで① 計画書の意味/装備と食糧	開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか?」を考えます。また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。
3月30日(月)	岩登りの基礎Ⅰ	岩登りについての考え方、具体的・基本的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。
4月6日(月)	岩登りの基礎Ⅱ	岩の登り方・確保の方法についての注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。
4月13日(月)	登山の計画~下山まで② 生活・行動技術	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
4月20日(月)	パーティー論・リーダー論	パーティーが安全に登り、確実に下山できるためにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は?
5月11日(月)	地図の読み方・使い方	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
5月18日(月)	気象Ⅰ	天気図と山の天気的基础を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。
5月25日(月)	気象Ⅱ	天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな?

【編集後記】先月号からの1ヶ月で、すっかり世の中が変わってしまったかのようです。1日も早い正常化を願ってやみませんが、同時にここ数十年間の人間社会のあり方についても色々と考えさせられる日々もありました。みなさま、お大事にお過ごしください。なお、今号は本来なら新年度の第1号ですが、まだ総会が行われていないため、イレギュラーですが「第51期13号」となっております。

Schedule 2020

※ スケジュールは暫定です。

4 月			5 月			6 月		
1	水		1	金	清掃登山④	1	月	登山学校理論
2	木	清掃登山① 女性部会②	2	土		2	火	
3	金	遭対担当者会議①	3	日		3	水	
4	土		4	月		4	木	清掃登山⑦ 女性部会④
5	日		5	火		5	金	遭対担当者会議②
6	月	登山学校理論	6	水		6	土	
7	火		7	木		7	日	清掃登山
8	水	清掃登山②	8	金		8	月	無雪期救助訓練(机上)
9	木		9	土		9	火	
10	金		10	日	登山学校実技cc	10	水	
11	土	登山学校実技 MC	11	月	登山学校理論	11	木	清掃登山⑧ (平和行進各務原)
12	日	登山学校実技 MC	12	火		12	金	
13	月	登山学校理論	13	水	清掃登山⑤	13	土	救急救命法
14	火		14	木	教育担当者会議③ 女性部会③	14	日	救助訓練 登山学校 MC
15	水	教育担当者会議②	15	金	春山合宿遭対報告会議	15	月	確保技術(机上)
16	木		16	土		16	火	
17	金	春山合宿遭対連絡会議	17	日	教育部交流山行② 登山学校実技 C	17	水	教育担当者会議④
18	土		18	月	登山学校理論	18	木	理事会⑤
19	日	教育部交流山行① 登山学校実技 MC	19	火		19	金	
20	月	登山学校理論	20	水	組織担当者会議②	20	土	確保技術講習会準備 全国基金担当者会議
21	火		21	木	理事会④	21	日	確保技術講習会 登山学校 MC 労山創立 60 周年記念行事
22	水	清掃登山③	22	金		22	月	登山学校理論
23	木	理事会③	23	土	登山学校実技 M	23	火	
24	金	第 1 回遭対担当者会議	24	日	登山学校実技 M	24	水	組織担当者会議③
25	土		25	月	登山学校理論	25	木	
26	日		26	火		26	金	
27	月		27	水		27	土	教育部交流山行③
28	火		28	木	清掃登山⑥	28	日	登山学校実技 C
29	月		29	金		29	月	登山学校理論
30	火		30	土		30	火	
			31	日	(平和行進湖西市)			

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com